

平成31年度農山漁村6次産業化対策事業に係る持続可能な循環資源活用総合対策事業
(循環資源活用対策事業のうち地域資源活用展開支援事業) 計画策定支援

再生可能エネルギーの導入を通じた農山漁村の活性化推進事業

マッチング活動 モデル地区の募集について

2018年5月

マッチング活動 モデル地区の募集について



昨年度に引き続き、再生可能エネルギーの導入を通じた農山漁村の活性化推進事業として、再生可能エネルギーの導入・活用により農林漁業の活性化を検討したい自治体や農林漁業関係者の募集を行ないます。

本活動では、これから再生可能エネルギーの導入を検討したいと考えている方々や再生可能エネルギーの導入を検討中でエネルギーの活用方法を検討したい方々向けに、民間企業の知恵を借りて、再生可能エネルギー導入計画の策定を支援しております。

本活動にご参加をご希望の方は添付の『マッチング活動応募申請書2019.docx』にご記入の上、**7月12日(金)**までにenergy_jmac@jmac.co.jp までメールにてご送付ください。

なお、今回は4箇所程度の支援を想定している為、応募多数の場合はご相談させて頂く場合があります。ご了承ください。

株式会社日本能率協会コンサルティング
野田 真吾

1. 再生可能エネルギーの導入を通じた農山漁村の活性化推進事業について

2. 計画策定支援(マッチング事業)

モデル地区の募集

地域課題の明確化

地域課題解決策の募集

地域課題解決策の検討

参考:昨年度の参加地域と各地域の検討内容

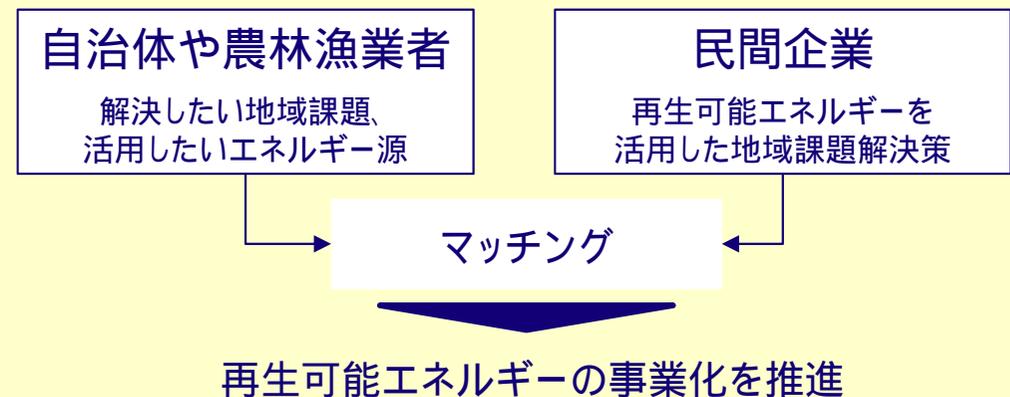
参考:昨年度の主な活動実績

1. 本事業について

再生可能エネルギーの導入を通じた農山漁村の活性化推進事業は、主に以下の2つの活動を行っております。

活動その1. 計画策定支援(マッチング事業)

地域循環資源(再生可能エネルギーなど)の活用による地域活性化を目指す市町村や農林漁業者等について、モデルとして普及効果が見込める地区を選定し、専門家の助言により、課題整理、要件の明確化等を実施するとともに、課題解決に向け解決策(ソリューション)を民間事業者に対し募集する。そして、応募事業者の提案内容について、専門家が精査し、優良な提案については市町村や農林漁業者にわかりやすい内容になるよう応募事業者にアドバイスした上で、マッチングを行う。



活動その2. 情報発信(理解醸成スタディーミーティング)

地域循環資源のマテリアル利用やエネルギー利用により農林漁業におけるコスト削減や収益増、地域活性化が図られた先進情報を提供し、地域循環資源の活用メリットの理解を醸成する。これにより、地域課題解決に地域循環資源を活用するための検討を具体的に開始する農林漁業関係者および自治体を増やす。

2. 計画策定支援(マッチング事業)

- 再生可能エネルギーにより農林漁業の活性化を検討したい自治体や農林漁業者を募集(4箇所程度)し、モデル地区における地域課題を明確にします。
- 解決したい地域課題や活用したいエネルギー源を展示会を通じて民間事業者に向けて発信します。
- その後、再生可能エネルギーを活用した地域課題の解決策を民間事業者から募集し、モデル地区とのマッチングを行い、一緒に解決策を実行する為の計画立案を行います。

モデル地区の募集

5～7月

再生可能エネルギーの導入や利用により農林漁業の活性化を検討したい市町村や農林漁業者を募集します。(4箇所程度)

地域課題の明確化

7～8月

モデル地区における地域課題や、活用できるエネルギー源を明確にします。

地域課題解決策の募集

9月～11月

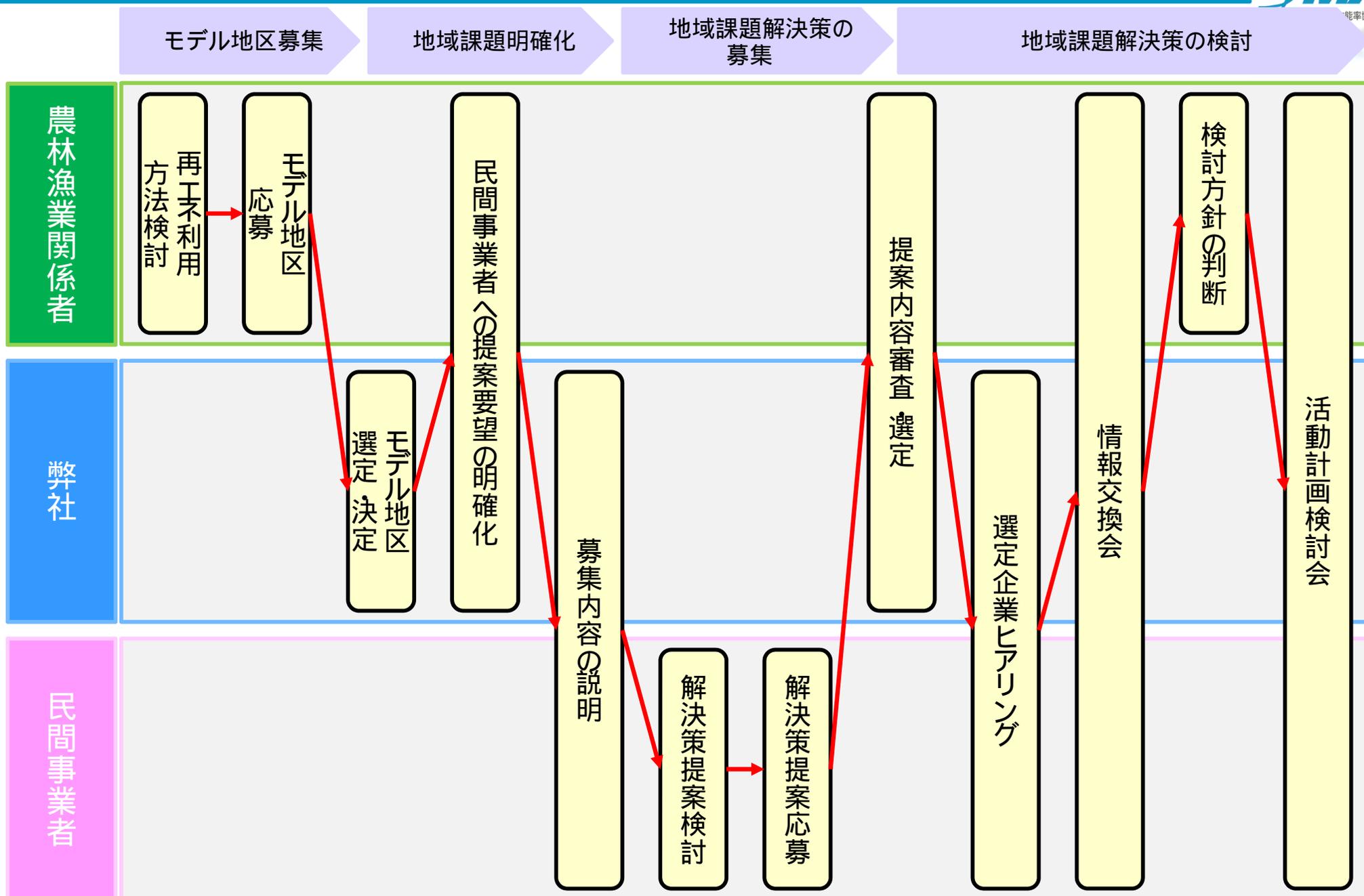
解決したい地域課題や活用したいエネルギー源を民間事業者に向けて発信し、地域課題解決策を募集します。

地域課題解決策の検討

12月～2月

民間事業者とモデル地区とのマッチングを行い、地域課題の解決策を実行する為の計画立案を一緒に行います。

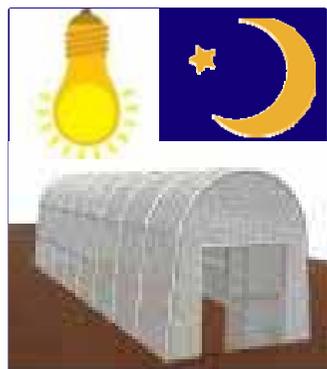
参考：検討の流れ(イメージ)



検討したい地域課題解決策のイメージ(例)

売電収入による地域課題解決策だけでなく、下記のようなエネルギーを地産地消することで、農林漁業の課題解決・農山漁村の活性化につながる解決策を検討したいと考えております。

農業(施設栽培)



電照栽培



小水力発電



蓄電

【解決したい地域課題】

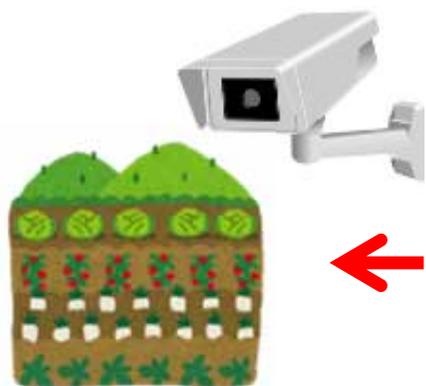
- 光熱費の削減

【エネルギー源】

川の水の落差を活用した小水力発電

小水力発電による電力を施設園芸に供給し、電照栽培における電気代を削減する。

農業(露地栽培)



鳥獣害対策



太陽光発電



蓄電

【解決したい地域課題】

- 鳥獣害対策
- 電力供給

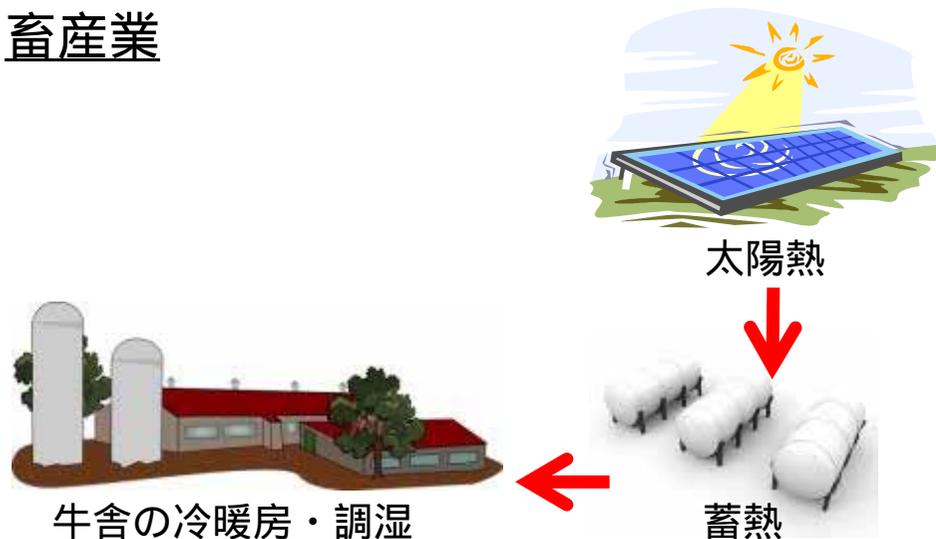
【エネルギー源】

農場の空いている土地に太陽光発電

太陽光発電による電力を鳥獣害対策設備に供給し、電力源の確保を行う。

検討したい地域課題解決策のイメージ(例)

畜産業



【解決したい地域課題】

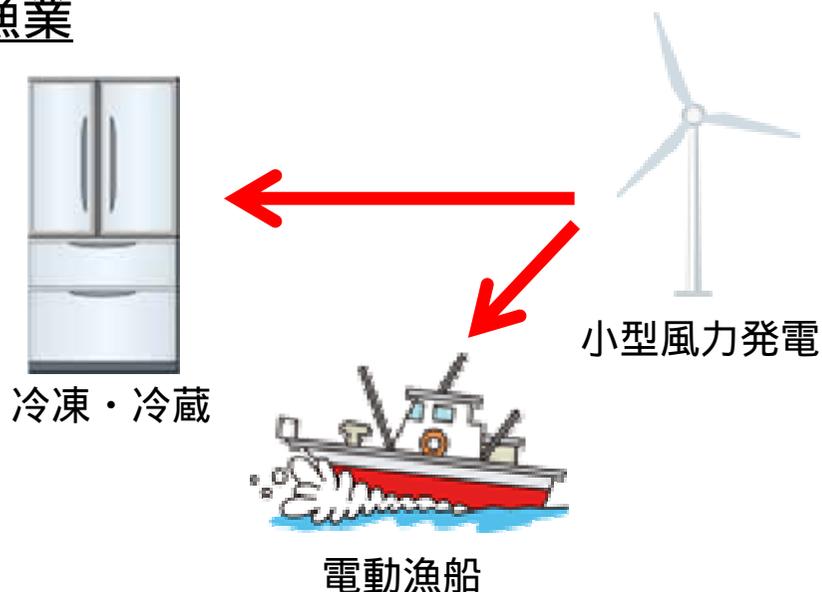
- 付加価値向上
- 経費の削減

【エネルギー源】

牧場の空いている土地に太陽光発電

発電した電力を畜舎内の農機具や空調などに活用し、電気代を削減するとともに、生産物を環境にやさしいとアピールすることで、ブランドイメージを向上させる。

漁業



【解決したい地域課題】

- 漁業の活性化
- 新たな雇用の創出

【エネルギー源】

洋上の恵まれた風況を利用した洋上風力発電

海岸の施設に電力を供給するだけでなく、風車基礎部へ人工漁礁を設置し、新たな漁場となったり、風力発電の保守点検に漁船を利用することで新たな雇創出する。

活動の進め方 モデル地区の募集

モデル地区の対象として以下を想定しております。

農林漁業に関連のある組織体・産業であれば、モデル地区として検討させていただきますので、まずはご連絡ください。

【組織体】

自治体

- ・市、町、村

協同組合

- ・農業協同組合 (JA)、農業協同組合連合会
- ・漁業協同組合 (JF)、漁業生産組合、漁業協同組合連合会
- ・森林組合、生産森林組合、森林組合連合会
- など

法人

- ・農業法人
- ・土地改良区
- など

その他

- ・農林漁業関係者

【産業】

農業

- ・施設栽培 (野菜、果物、花卉)
- ・露地栽培 (米・麦・豆)
- ・露地栽培 (野菜、果物)
- など

畜産業

- ・畜産農家 (ブロイラー、鶏卵)
- ・畜産農家 (牛、豚)
- など

漁業

- ・陸上養殖
- ・海面養殖
- ・漁業
- など

林業

- ・林業
- など

上記に限定している訳ではありませんので、まずはご関心がありましたらお問合せください。

参考：モデル地区募集用フォーマット

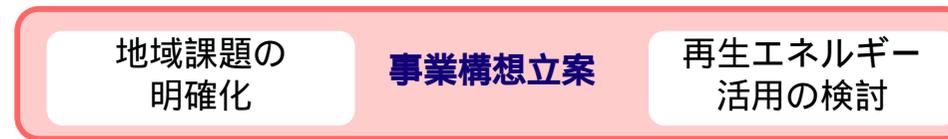
団体名	
担当部署名	
担当者役職	担当者氏名
住所	〒 -
電話	E - mail
場所	既に想定する具体の地域がある場合は地域名をご記入ください。
地域の特徴	<p>地域の特徴してあげられる事を記入してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口、場所、気候 ➢ 産業、名産品 ➢ 現在、重点的に取り組んでいる農林漁業振興策 ➢ 今回対象となる作物(家畜・魚類等含む)や栽培(飼育・養殖等含む)方法概要など
抱えている課題	<p>地域が抱えている課題、解決したい課題や再生可能エネルギーの活用により解決したい課題についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 農林漁業施設でのエネルギー活用 ➢ 農林地の整備、耕作放棄地・ため池・用水路等の維持管理 ➢ 農林漁業関連施設の整備 ➢ 消化液・堆肥の活用 ➢ 次世代農業、漁業への取り組みなど
再生可能エネルギーの種類	<p>現在検討している再生可能エネルギーをすべて でチェックしてください。</p> <p>太陽光発電 風力発電 水力発電 地熱発電 バイオマス発電(木質) バイオマス発電(家畜排泄物) バイオマス発電(農業残渣) バイオマス発電(食品残渣) バイオマス発電(その他) バイオマス熱供給 温泉熱 太陽熱 地中熱 雪氷熱 温度差熱 その他()</p>
対象産業	<p>現在検討している産業をすべて でチェックしてください。</p> <p>水田作 畑作 野菜作(露地) 野菜作(施設) 果樹作物 花き作 酪農 肉用牛 養豚 排卵養鶏 プロイラー養鶏 林業 栽培きのこ 漁業 養殖</p>
検討している内容	現在検討している再生可能エネルギーの活用内容について具体的にご記入ください。
企業への期待	<p>企業から提案してほしい内容をなるべく詳しく記入してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 再生可能エネルギーの活用方法 ➢ エネルギーの最適制御・収量拡大・省力化等に向けた設備機器・システム ➢ 地域資源を活用した地域活性化 など

活動の進め方 地域課題の明確化

モデル地区として選定しましたら、現地に訪問し、『地域で抱える課題の抽出』や『地域で活用できそうな再生可能エネルギー』について議論させて頂き、民間企業にどのように情報提供すれば良い提案をもらえそうか検討します。

再生可能エネルギーを活用した農山漁村活性化を実現するために、
事業構想立案から事業計画策定まで5つのステップを踏む必要があります。

- 地域の特定
- 地域課題の抽出
- 課題解決策（ソリューション）の検討



- エネルギー種類選定
- 設備導入の検討
- 導入場所の検討

事業コンセプト立案

- 事業コンセプト・スキームの検討
- 地域ニーズ仮説の検証
- 実現課題の抽出

事業体制構築

- 事業実施体制の検討
- 資金調達方法の検討
- 展開可能性の検討

事業実現性の検証

- 事業課題、技術課題の抽出
- 地域ニーズの検証
- 資金調達方法の検討

事業計画策定

- 資金計画の立案
- 事業計画の立案

活動の進め方 地域課題解決策の募集

全国4箇所において、募集内容の説明会を行います。また、既存のネットワーク(民間企業約1000社)にメールにて通知します。

	日時	場所
仙台会場	未定(9~10月頃を予定)	未定
東京会場	未定(9~10月頃を予定)	JMAC本社を予定
大阪会場	未定(9~10月頃を予定)	JMAC関西オフィスを予定
福岡会場	未定(9~10月頃を予定)	未定

【ポスターイメージ】

*** 県のある団体 A

地域の特徴

活用できるエネルギー源、解決したい地域課題

企業に提案して欲しいこと

【応募フォーマット】

貴社名 ご所属	役職 お名前	TEL E-mail	
対象地域 検討対象とした地域の名称	地域の経済課題 対象地域が抱えている課題の内容		
ソリューションコンセプト		提案ソリューションを一言で表現すると	
ソリューション内容 ソリューション内容を絵や文字で表現してください。		課題解決イメージ ソリューションにより、地域の課題がどのように解決されるのかを記載してください。	

活動の進め方 地域課題解決策の検討

募集した地域課題解決策を評価し、選定された民間事業者とともに、今後の進め方を議論し、双方の同意が得られれば来年度以降の具体的な実行計画を立案します。

提案内容の評価、
民間事業者の選定

対象としている地域や団体を再度訪問し、民間事業者が応募した解決策と一緒に評価し民間事業者を選定します。

提案内容の練り上げ

選抜された民間事業者とともに解決策を見直し、対象としている地域や団体の抱える課題の解決につながっているのか、実現性を再検討します。

進め方の検討

民間事業者と共に、対象としている地域や団体を訪問し、改めて提案内容について実現性について議論し、今後の進め方を検討します。

計画立案

対象としている地域や団体と提案した民間事業者の双方の同意が得られ、更に具体的に検討が進められそうであれば、来年度以降の実行計画を立案します。

参考:これまでのマッチング募集地域

年度	対象地域	検討内容	企業に提案して頂きたい内容
2017	岩手県の ある自治体	牛糞バイオマス施設で発生する余剰エネルギーの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 冬に作付可能な施設園芸システム 余剰電気・熱の活用方法
	福島県の ある農業団体	耕作放棄地の有効活用、エネルギー創出による新たな収入源	<ul style="list-style-type: none"> 投資額が少ないバイオガス発電プラント 熱や液肥利用方法
	福井県の ある自治体	食品加工残渣を活用したメタンガス発電・熱利用	<ul style="list-style-type: none"> 魚のあらなどの食品加工残渣を活用したメタンガス発電システム 電気および熱の利用方法、消化液の活用方法
	静岡県の ある自治体	地元農家が持続的に維持管理可能な小水力発電運用モデル	<ul style="list-style-type: none"> 小水力発電を活用した地域資源の高付加価値化の立案 地元が持続的に管理できる小水力発電運用モデルの立案
	和歌山県の ある自治体	山椒農家における再エネ活用モデル	<ul style="list-style-type: none"> 山椒農家における再生可能エネルギーの活用モデル (低コストの冷凍保存方法、電気がない場所での鳥獣害対策など)
2018	福島県の ある自治体	牛・鶏・豚の糞尿によるバイオガス発電システムの導入モデル	<ul style="list-style-type: none"> 家畜排泄物や食品残渣利用したメタン発酵ガス化発電等システム 発電における電気及び熱・消化液の最適な利用方法
	福島県の ある農業団体	耕作放棄地を活用した資源作物の栽培、牛糞尿バイオガス発電の余剰熱活用	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地で栽培する資源作物 メタン発酵ガス化発電で生成される余剰熱・消化液の有効活用
	千葉県の ある農業法人	豚糞尿と食品残渣などによるバイオガス発電と余剰熱活用	<ul style="list-style-type: none"> バイオマス資源の確保方法 トータルソリューションの提案
	福井県の ある自治体	有害鳥獣焼却施設における排熱利用および地域資源の活用モデル	<ul style="list-style-type: none"> 既存の害獣焼却施設の排熱を有効利用した発電方法・設備 地域の農林業副産物を活用した新たな有害鳥獣処理モデル
	兵庫県の ある農業団体	肉用牛の糞尿によるバイオマス活用システム	<ul style="list-style-type: none"> 肉用牛に適したバイオマス発電 トータルソリューションの提案
	熊本県の ある農業法人	鶏糞尿によるバイオマス発電システムの導入モデル	<ul style="list-style-type: none"> 鶏糞や肉牛の糞尿を活用したバイオマス発電システム バイオマス発電により発生する電気・熱及び副生物の活用方法

参考：昨年度の主な活動実績

計画策定支援(マッチング活動)

再生可能エネルギー・マテリアルを活用した地域課題解決策の募集(第1期:2018年7月11日～8月10日)

https://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/problem_solving_jmac2018.html

再生可能エネルギー・マテリアルを活用した地域課題解決策の募集(第2期:2018年10月9日～11月27日)

https://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/energy_20181009.html

情報発信(理解醸成活動)

農林漁業における再生可能エネルギー・マテリアル活用事例

https://www.jmac.co.jp/column/items/energy_consulting2018_jirei.pdf

農林漁業における再生可能エネルギー・マテリアルの活用方法に関する勉強会(2018年11月～12月)

https://www.jmac.co.jp/column/items/energy_study201809.pdf

活動報告会の開催(2019年3月5日、虎ノ門)

https://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/energy_study201902.html



活動状況につきましては、随時、下記URLにてご案内をさせていただきます。

http://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/energy_consulting20170831.html

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社日本能率協会コンサルティング
農エネプロジェクト 野田、江原

〒105-0011

東京都港区芝公園3丁目1番22号 日本能率協会ビル7階

TEL:080-3258-0696 FAX:03-4531-4318

E-mail: energy_jmac@jmac.co.jp

エネルギー産業支援ホームページ

<http://www.jmac.co.jp/column/industry/energy/>

※本資料は以下の利用条件を十分ご確認の上ご利用ください。

1. 本資料に関する著作権、商標権、意匠権等を含む一切の知的財産権は、株式会社日本能率協会コンサルティングに帰属しています。
2. 株式会社日本能率協会コンサルティングの事前の書面による承諾を受けた場合をのぞき、本資料の一部又は全部を複製、転載、転用、翻案することは禁止されています。